

INFO 1

北海道医療大学「福祉と当事者のリアル」

5月下旬から北海道医療大学と共同し、寄付講座として「福祉と当事者のリアル」を開講しました。当初は対面での実施を予定していましたが、コロナウイルスの影響を受け、全てオンライン講義とし、現在では履修学生60名(看護福祉学部臨床福祉学科・看護福祉学科1年生)に加え、他学部学生や一般参加者を合わせると全体で400名が受講しています。本講義を行う背景として、福祉を学ぶ学生のほとんどは、当事者や支援者との出会いが3年次の実習となっており、大学入学時には、さまざまな福祉のリアルに触れる機会がないことが実情としてあります。そんな学生の学びはもろんのこと、地域の方をはじめ、さらにはオンラインという利点を生かし、全国の方々の学ぶ場として10月末まで実施してまいります。

●申込方法

右記のQRコードからお申し込みいただけます。本講義はリアルタイムでのYoutube配信のほか、アーカイブにて1週間のご視聴も可能となっております。各講義前日の12時までにお申し込みの上、講義をお楽しみください。なお、既に終了している講義につきましては、配信等の対応はいたしかねますのでご了承くださいませ。

今までのゲスト

湯浅誠氏、二本松一将氏(5月23日)
上岡陽江氏、向谷地生良氏(5月30日)
町田聖氏、馬場拓也氏(6月13日)
広野ゆい氏(6月27日)
松岡宗嗣氏、向谷地生良氏(7月4日)

これからのゲスト

鎌田守氏(7月18日)
伊豆丸剛史氏、栗根当事者(9月12日)
今井出雲氏、山本斐海氏(9月26日)
本田優子氏(10月3日)
野澤和弘氏(10月17日)
野崎伸一氏(10月31日)



INFO 2

東大生が当別で就業体験！

東京大学法学部の山本斐海さんが4月より半年間のインターンシップに来ています。なぜ、東京大学の学生が当別に?と思う方もいらっしゃるのではないのでしょうか。山本さんは「障害者のリアルに迫る」東大ゼミという東京大学の自主ゼミに所属しており、ゼミの活動として昨年の夏にゆうゆうへ見学・体験に来ました。ゼミを通して障がいのある方や支援者と出会い、障がいについてさらに時間をかけて考えたい思いが強くなっていったことや、ゆうゆうの活動に興味を持ったことがきっかけでインターンシップを希望しました。現在は、主に「生活介護事業所によきによき」にて勤務をしながら、「福祉と当事者のリアル」の講義運営に参加している山本さん。活躍の様子はNHK「ほっとニュース北海道」(6月10日放送)で特集として放送されました。

インターンシップは、利用者さんや地域住民との中長期的な関りを通して多様な価値観に触れ、自分の将来について考える貴重な経験となります。福祉を専門的に学んでいない学生も積極的に受け入れ、遠い存在に感じてしまう福祉をより身近に、そして福祉のあり方を様々な視点から考えられるような人材育成を目指していきます。



YOU YOU MAGAZINE

ゆうゆうマガジン



Donation 寄付について

ゆうゆうの活動にご支援をお願いします

私たちの考え方、事業に共感していただける皆さまからのご寄付を受け付けています。超少子高齢・人口減少社会などの社会課題に対し、「ひとりの想い」を大切に福祉実践を展開し継続した活動をするためには、皆さまの力が必要です。ぜひ活動へのご支援をお願いします。

社会福祉法人への寄付について

1 個人の場合

所得税の寄付金控除または税額控除が受けられます。

2 法人の場合

一般の寄付金とは別枠で、法人税法上の損金算入ができます。

3 相続による寄付の場合

租税特別措置法により相続税が非課税となる場合がありますのでご相談ください。
※個人で適用を受けるためには確定申告が必要です。

領収書について

寄付金控除を受けるには、「寄付金」の但し書きのある領収書が必要です。当法人発行の領収書をご希望の方は、お電話又はWEBお問い合わせフォームからご依頼ください。

TEL:0133-22-2896
<http://yu-yu.or.jp/contact/>



編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、皆様にはご不便をおかけしているにも関わらず、日頃よりご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。昨年10月に「YUYU上半期ダイジェスト」を発行したところ、皆様から嬉しい反響がありました。今年度も情報発信には力を入れ、広報誌「YOU YOU MAGAZINE」を3か月に一回発行致します。当法人の取り組みを皆様によりわかりやすくお伝えできるよう、努めて参ります。今後どうぞよろしくお願い致します。



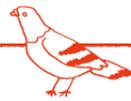
YOU YOU MAGAZINE SUMMER

デザイン/株式会社ブリオンデ 山崎啓太郎 発行/社会福祉法人ゆうゆう 事務局 広報 tel:0133-22-2896 mail:info@yu-yu.or.jp

2020/07 SUMMER

ゆうゆうの今を伝える広報紙

理事長メッセージ



いつもありがとうございます。YOU YOU MAGAZINEを発刊することになりました。

社会福祉法人 ゆうゆう 理事長 大原 裕介

ゆうゆうのやっていることは、「たくさんありすぎて分かりにくい」とよく言われます。福祉というものがそもそも分かりにくいのに、ゆうゆうは制度を超えた事業展開をしているので、さらに分かりにくくなります。

たくさんありすぎるので、すべてのことをお伝えすることは非常に難しいのですが、少しでもゆうゆうの取り組みをご紹介しますことで、ゆうゆうのことを知ってもらい、欲を言えば、応援してもらいたいと思っています。

YOU YOU MAGAZINEは四季折々に年4回発刊して、ゆうゆうの取り組みをご紹介しますと思っています。利用者や保護者の方々、関係団体や地域住民の方々、スタッフやその家族にもご覧いただきたいです。

記念すべき創刊号は新型コロナウイルスの話題が中心となりました。世界中の誰しもが解を持たない未曾有な状況のなか、利用者やスタッフの命と生活を守ることに3ヶ月間、スタッフ一同懸命に取り組んできました。

自分の感染リスクよりも利用者を守るために献身的なサービスを提供するスタッフ、その取り組みを昼夜休日問わずにサポートするバックアップスタッフ。彼ら彼女たちのプロ意識がなければこの難局は乗り越えることはできなかったです。そして、医療関係者の皆さんのバックアップや保護者の皆さんのご協力とご理解の賜物でもあります。

私たちのコロナ禍におけるケア方針は、「利用者やスタッフが感染する」ということが前提です。もちろん感染予防対策についても徹底して取り組んでいますが、感染者を出さないというのは無理であると思っています。プロ意識を欠く行動による感染は許されませんが、誰しもが感染するというリスクがあるということを認識しなくてはならないのです。まるで、魔女狩りのように感染者を論う風潮に対しては違和感があります。大切なのは隠さないことと、感染を広げないことです。そのためには、体調不良な

ことをオープンにしても大丈夫であるということやスタッフに伝え、サポート体制も構築しました。また、利用者に対しては、感染したことを想定して、医師の監修のもと、グループホームの単独居室空間にゾーニングなどを施し、隔離居住空間を整備しました。隔離空間整備は今後も拡充する予定です。感染予防対策に取り組む一方で、コロナ禍のなかで、できることはないかと自問自答する日常でもありました。記事のなかで紹介しているのはその一端です。ゆうゆうらしいという表現の一部でもあります。コロナ禍で一方的に大切なモノやコトを奪われるだけでは、悔しいので、できることをこれからも考え続けていきたいと思っています。才能に富んだ新しいスタッフも仲間に加え、みなさんのご期待に添えるよう歩みを続けていきたいと思っています。

今後とも変わりないご支援とご声援を賜りますようお願い申し上げます。

新入職員紹介

北海道

新卒採用職員



蝦名 佑美

所属: 江別就労支援部 生活介護事業所よのに
出身大学: 札幌大谷大学

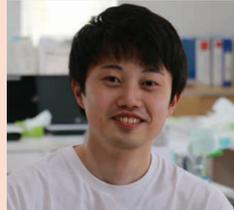
この度、憧れていた大森への引っ越しを叶えました。たくさんの方のサポートのおかげで、安心して暮らすことができています。これからも、精一杯がんばりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



世戸口 瑞友

所属: 江別子育て推進室 就労支援センターkaede
出身大学: 大妻女子大学

笑顔と元気溢れる子どもたちと一緒に成長していけたらと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



長尾 豪也

所属: 地域生活支援部 共同生活援助事業所 ゆうゆうのいえ
出身大学: 北海道医療大学

利用者の皆さまに真剣に向き合い、出来る事一つでも多くしてあげるよう努めています。どうぞよろしくお願いいたします。



山崎 凜々

所属: 当別就労支援部 野布農園
出身大学: 神奈川県立かながわ農業アカデミー

神奈川で農業を勉強していました。福祉についてはこれから少しずつ着実に身につけていきます。利用者の皆様とおいしい米と野菜を作りたいと思います。

中途採用職員



煙山 順子

所属: 地域包括ケアシステム推進室 当別町地域包括支援センター

ゆうゆうという組織は「その人」の存在を大切にしてくれ、これからは、当別を私のフィールドとして、頑張りたいと思います。

品川

新卒採用職員



山本 有希子

所属: 品川事業部 品川児童学園 児童発達支援センター
出身大学: 桜美林大学

子どもたちが安心して過ごすことができるよう日々学び、精一杯がんばりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



高木 幸春

所属: 品川事業部 品川児童学園 児童発達支援センター

前職(療育)の経験を活かし、利用者や家族に寄り添ってあげたいと考えております。よろしくお願いいたします。



岸田 芽来

所属: 品川事業部 品川児童学園 児童発達支援センター

今年1月にJICA青年海外協力隊の任期を終了し、帰国しました。今までの経験を活かし、子どもたちと元氣いっぱい過ごしていきます。よろしくお願いいたします。

中途採用職員



広瀬 麻衣

所属: 品川事業部 品川児童学園 日中一時支援

新しい環境で心機一転頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



千葉 友理子

所属: 品川事業部 品川児童学園 子ども発達相談室

準職員として3年勤め、今年度から正職員になりました。保護者と一緒にお子さんの発達について考え、成長や変化と一緒に共有していきたく思いますので、よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス(COVID-19)に伴う取り組み

トピックス①

既成概念を超えたチャレンジ

事業の縮小・自粛を余儀なくされる中、新たな利用や支援開発に繋がった拠点もあります。放課後等デイサービスセンターkaedeでは、ご自宅にいる利用者に対してZOOMアプリを使用したソーシャルスキルトレーニングを始めました。休校中のご本人やご家族の心身の負担を軽減するため、コロナ禍でも出来るサポートを検討・実施しています。また、amaririsuでは、休校中ご家族の育児負担が大きいご家庭に対して、利用しているご本人だけではなく、ご兄弟に対する相談にも応じてきました。学校再開後の現在も、ご家族の不安や困り感についてご相談に応じています。



トピックス②

オンライン研修の実施

現在職員が一堂に会することが難しい為、毎年実施している「虐待防止研修」をオンライン配信で実施しました。例年と異なり時間・場所が固定されていない為、今まで直接受講が叶わなかった職員も全員同じ研修を受ける事ができ、法人内における知識と理念の浸透に一翼を担っています。また、地域住民や大学生を対象とした「当別町共生型ボランティア養成講座」全10回の講義もオンラインで開講しました。コロナ禍にも関わらず、約50名の意欲ある方々が受講してくださいました。受講者が地域のサポーターとしてインフォーマルな支援で活躍する日が今から楽しみです。



トピックス③

新卒採用活動 全国の学生に向けて

都道府県をまたぐ移動が自粛となり、当初の予定が大幅に変更となった新卒採用活動ですが、就職フェア・法人採用説明会の方法をオンラインに変更し、現在までに道内外の学生13名のエントリーを受付しました。初めての方法ではありますが、従来通り当法人の理念がしっかりと伝わるよう試行錯誤しながら採用活動に取り組んでいます。就活生の不安に寄り添いながら、来年の春に向けてお互いに納得のいく採用を目指していきます。



トピックス④

ゆうゆう式コミュニケーション

世間が自粛ムードのこんな時だからこそ、「職員のコミュニケーションを増やして士気を高めよう!」という事で、巷で話題の「ZOOM飲み」はゆうゆうでも実施しています。同期同士、所属のチーム、当日呼びかけたメンバーなど、縦横斜めの繋がりを大切にしています。ソーシャルディスタンスを保って歓迎会を実施するチームもあり、コロナ禍でも前を向いて「ゆうゆうらしさ」の醸成に向けて取り組んでいます。



U-gohanの味をご家庭で

今年の2月にオープンした「北海道の米と汁 U-gohan 東大正門」は、新型コロナウイルスの影響を受け、4月から休業しています。しかし、不安な毎日をお過ごしになっているみなさまのお力になりたいと考え、北海道の野布潮農園で愛情たっぷり育てたU-gohanのお米をお届けする通販サイトを開設いたしました! ご自宅用はもちろんのこと、ちょっとしたプレゼントに全国へ郵送も行っています。詳しくはQRコードよりサイト内をご確認の上、ご注文お待ちしております。



ぺこぺこのはたけ ~つながる食事をすすむわ~

冬季休業を経て、4月20日より営業を再開しました。一番の予防策である健康体をつくるのは、やっぱり食事。「待ちわびていたよ!」という声を頂きながら、栄養たっぷりの食事で地域のみなさまへ元氣をお届けしています。看板メニューの小鉢御膳は、テイクアウト用にお弁当としても販売を開始しました。おかげさまでの注文も受け付けており、コロッケは揚げたてのテイクアウト、もしくはご自宅で揚げたてを楽しむ用にタネの購入も可能です。



Pâtisserie Ruelle 再オープン

4月末日から長期にわたりお休みを頂戴していましたが、現況を鑑み、感染予防の準備をし、7月1日より再オープンをする運びとなりました。再オープンにあたっては、感染予防のために、いくつかお客様にご協力を頂くことといたしました。今後もお客様に少しでも喜んで頂くために美味しいお菓子をご提供するに精進して参りますので、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。ご来店を心よりお待ちしております。

